H26地域政策研究センター地域協働研究（地域提案型･後期）採択課題一覧表　【研究期間：H26年10月～H27年9月】

		研究課題名 （研究計画策定後の課題名）	研究の概要	研究代表者			共同研究者(提案者団体)	共同研究者(共同研究員)			研究区分	研究分野	研究フィールド	研究関与者（パートナー）
				所属	職	氏名		所属	職	氏名				
RL-01	1	盛岡浄瑠璃人形の調査・保存活動と復活公演を目標とした基礎的検討	本研究では、１）浄瑠璃人形のかしら・衣装・古文書の図録を作成し、重要文書の解読、２）浄瑠璃人形を復刻し、復活公演を目標に必要な調査と検討、３）浄瑠璃人形のX線CT測定と解析、かしら部分や烏帽子の解析や精巧なレプリカモデルの作成、を目標とする。さらにX線CTスキャンによる撮像により、浄瑠璃人形の内部も含めた3次元情報を取得し、従来の計測方法では得られなかった知見や歴史的事実を探求する。	ｿﾌﾄｳｪｱ情報学部	教授	土井章男	特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター	岩手県立博物館 東しゃ株式会社 岩手県演劇協会	学芸第一課 事業開発 副理事長	瀬川修 鈴江茂 長内努	一般課題研究	地域社会研究分野	盛岡市	―
RL-02	2	脳卒中に対する企業意識の変化が死亡率等へ与える影響について	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) 岩手県の脳卒中による死亡率が全国ワースト１となっていることから、岩手県脳卒中県民会議を設立し、県民挙げてその予防対策を実施していくこととした。 予防対策としては、啓発運動が中心となっていくが、それらの効果の検証を行うことで、予防対策の手法の検討に資することを目的とする。 ② 実施方法･取組みの概要 脳卒中予防を効果的に推進するために、本研究では県民会議に参加する団体を対象にアンケート調査を行い脳卒中予防運動の課題を明らかにし効果的な運動の方向性を検討する。併せて、既存の保健・医療等のビックデータや人口動態調査などの既存データで得られる脳卒中予防運動の評価指標について検討する。 研究結果は、脳卒中予防運動の関係者を対象とした報告会（研修会）や報告書において普及する。	看護学部	講師	松川久美子	岩手県脳卒中予防県民会議	看護学部 看護学部 岩手県環境保健研究センター 岩手県国民健康保険団体連合会 岩手県国民健康保険団体連合会 全国健康保険協会岩手支部 全国健康保険協会岩手支部	助手 助手 上席専門研究員 保健師 保健師 保健師 保健師	藤村史子 蘇武彩加 海上長子 関川望美 鳥居宗凖子 千葉小春枝 浅沼裕子	一般課題研究	地域社会研究分野	岩手県全域	岩手県保健福祉部　健康予防担当課長　佐藤　朝則
RL-03	3	地産品へのジオストーリー付加による新たなジオパークプロモーション手法の開発	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) ジオパーク先進地域では，料理や土産品等の地域資源に地質学的解釈を付加した商品開発が積極的に実施されている．地域住民の所得向上に直接的に寄与している例もあり，地域住民がジオパークに係わるきっかけにもなっている． 本研究では，三陸沿岸地域の地産品の中から，「日本酒（地酒）」をテーマとしたジオストーリーの作成を科学的・地質学的根拠を踏まえながら行うとともに，プロモーション手法についての検討を行う． ②　実施方法･取組みの概要 三陸ジオパークエリアのうち、岩手県エリアに存在する５つの酒蔵を対象として，ヒアリングを行うとともに，地質情報(主として地質分布と地下水化学組成分布)に着目し，地酒の味成分と地質との関係を考察する． 上記データを総合的に勘案し，地酒製造に見合ったジオストーリーの作成と，そのプロモーションについて各市町村の商工会議所等を通して検討を行うと共に，実践を行う．	総合政策学部	教授	伊藤英之	三陸ジオパーク推進協議会	地域連携本部 三陸ジオパーク推進協議会 三陸ジオパーク推進協議会	客員教授 事務局次長 ジオパーク推進員	杉本伸一 下向武文 関博充	震災復興研究	社会･生活基盤分野	洋野町，久慈市，野田村，普代村，田野畑村，岩泉町，宮古市，山田町，大槌町，釜石市，大船渡市，住田町，陸前高田市（三陸ジオパークエリアのうち岩手県全域）	宮古市長・山本正徳，岩泉町商工観光課，泉金酒造株式会社，釜石市商工観光課，株式会社浜千鳥，宮古市商工会議所，株式会社菱屋酒造店，他沿岸部の蔵元数社
RL-04	4	産地魚市場と消費地市場を結ぶ水産市場物流の再構築に関するフィージビリティースタディー	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) 産地魚市場と消費者市場を結ぶサプライチェーンが東日本大震災津波によって分断された。その結果、物流コストが上昇し、水産以外の業者においても消費地への物流を組み立てることが難しくなっている。 　そこで、学際的な視点から沿岸地域の物流プロジェクトの実業化実現可能性について調査研究を行う。 ② 実施方法･取組みの概要 　提案者の岩手県庁は、①物量業者・荷主とのマッチングの場作りを行う、②関係者間の調整を行う。 　大学側では、①技術面（荷主企業間の連携、物流事業者の連携、集配作業の効率化等）、②経済的（コスト削減策）での実現可能性の検討、③物流システム・運営面での実現可能性の検討を行う。	総合政策学部	准教授	新田義修	岩手県沿岸広域振興局	総合政策学部 （独）水産総合研究センター 岩手県 岩手県	准教授 漁村振興グループ 主任主査 主事	山本健 宮田勉 野澤清志 高田亨	震災復興研究	産業経済分野	釜石市，宮古市，大船渡市，陸前高田市等	平庄株式会社（釜石市）代表取締役 平野隆司（生鮮・加工品　市場便） 株式会社毛利（大船渡市）専務取締役　毛利豊喜（生鮮　首都圏） 及川冷蔵株式会社（大船渡市）営業課課長　及川慶晃（加工品・名古屋関西圏物流） エアウォーター食品物流㈱（釜石市）課長　杉山達（物流全般）　等
RL-05	5	過疎地域のニーズ・シーズ調査を基にしたストレングスの分析と住民主体の地域づくり	①解決を目指す課題(何を解決するのか) 中山間地域では、過疎化や高齢化といった福祉課題の他、医療や就労、住まい、教育、子育てなどの問題が多岐にわたるうえ、それぞれの個別事情により、抱える課題が一層複雑化しており、コミュニティの脆弱化、地域の活力低下が生じている。住民が住み慣れた地域で安心した生活を存続させながら暮らして行くためには、福祉コミュニティづくりを起点とした様々なアイディアを提供し、限界集落の地域活性化の手法を模索する。 ②実施方法･取組みの概要 本研究では、安心生活基盤構築事業と相俟った安心した生活の継続ができる地域づくりを進めるため、市内の中山間地域である２地区≪水沢区黒石地区（人口1,187人、380世帯、高齢化率39・3%）、衣川区北股地区（人口549人、142世帯、高齢化率36.8%）【H25.9.30現在】≫をモデルとしたニーズ・シーズの全戸訪問調査を行う。調査結果は、住民へ基礎情報として還元し、内容を踏まえながら、当該地区のストレングス（強み・強さ）、コミュニティの特徴を生かした地域づくりを提案し、応援するものである。	社会福祉学部	講師	菅野道生	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	奥州市社会福祉協議会	会長	岩井憲男	一般課題研究	地域社会研究分野	岩手県奥州市（水沢区黒石地区、衣川区北股地区）	黒石地区福祉推進協議会、北股地区振興会
RL-06	6	中心市街地の活性化に向けた市民参加型構想の研究	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) 宮古市中心市街地拠点施設整備事業は、震災復興後のまちづくりの命運をかけたプロジェクトであり、市民の意見を反映しながら進めていくことが重要である。この事業に関連する諸課題について、市民参加型の議論を進め、方向性を見出すことを目指している。また、市民参加による議論の様子を、タイミングよく広く周知することにより、多くの市民が、参画と協働のまちづくりのあり方に触れることも期待する。 ② 実施方法･取組みの概要 本共同研究グループ、研究協力者のほか、市民組織を結成し、「現在の市庁舎と整備予定の拠点施設を核とした中心市街地地区（エリア）に関連性（つながり）を築き活性化を生み出す方策（アイデア）」をテーマとして、市民参加型ワークショップを実施する。研究の成果は、市民意向として報告書にまとめる。	盛岡短期大学部	准教授	内田信平	宮古市	宮古市総務企画部企画課 宮古市総務企画部企画課市街地施設推進室 宮古市総務企画部企画課市街地施設推進室	課長 室長 主任	山崎政典 岩間健 竹田真人	一般課題研究	地域マネジメント研究分野	宮古市（中心市街地地区）	弘前大学教育学部　住居学研究室 教授　北原啓司
RL-07	7	小児救急医療体制の状況等の調査分析	①解決を目指す課題(何を解決するのか) 　小児救急医療においては、救命処置を要する疾病・疾患関しての質の確保と、小児に特有な疾病・疾患に関しての質の確保が大きな課題とされているが、一方では「小児救急患者の緊急度は多くが入院を必要としない軽症の患者で占められており、重症な患者の割合は少ないとの調査結果もあることから、久慈医療圏の具体的な調査を行い、その内容を分析する必要があるため。 ②　実施方法･取組みの概要 　小児救急医療体制の状況等の調査分析のため、岩手県立大学の医療分野に精通した教育研究者の技術、知見、知識等による高度な調査分析を実施し、岩手県と二次医療圏ごとの統計分析、地域的傾向などについて調査報告書を策定する。	看護学部	教授	白畑範子	久慈市	看護学部 看護学部 看護学部 久慈市 久慈市	助手 非常勤助手 非常勤助手 総括主査 主任	根田工子 関広恵 林本規子 佐々木秀博 泉川努志	一般課題研究	地域社会研究分野	久慈医療圏（久慈市、洋野町、野田村、普代村）	―
RL-08	8	盛岡広域におけるムスリム需要の概観と事業展開のあり方について	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) 人口減少等により国内市場の縮小が見込まれるなか，今後成長が期待されるイスラム教徒（ムスリム）の需要を取り込み，食料品製造業をはじめとする地場企業の販路拡大や外国人観光客の誘致を図ることを目指す。 ② 実施方法･取組みの概要 　　在住ムスリム等を対象としたアンケート調査，ワークショップ，フォーカスインタビューを行い，ムスリム需要の取り込み可能性及び課題等を明らかにしようとするものである。	総合政策学部	准教授	見市建	盛岡市	盛岡市 盛岡市 盛岡市	商工課長 商工課工業係長 商工課主任	後藤敏弘 吉田金一 熊谷朋宏	一般課題研究	地域社会研究分野	盛岡広域	（公財）岩手県国際交流協会 （公財）盛岡国際交流協会 日本貿易振興機構（ジェトロ）盛岡貿易情報センター 盛岡商工会議所　産業振興部長　水野匠
RL-09	9	ひとにやさしいまちづくり推進指針見直しに係る方針の検討	① 解決を目指す課題(何を解決するのか) ひとにやさしいまちづくり条例に基づく「ひとににやさしいまちづくり推進指針」の見直しに際し、災害時の配慮、国体・障がい者スポーツ大会などへの対応、寒冷地・積雪配慮等、岩手県の実情に会わせた内容を検討することが望まれている。これらの配慮の中には、日常的な配慮の質を高める内容もあり、この共同研究ではその内容を検討し提案する。 ② 実施方法･取組みの概要 推進指針の見直しについて、改定検討委員会委員の意見等を踏まえて平成26年度中に行うが、見直しの内容や推進指針の推進方向に係る具体的な配慮の取組について、県立大学のノウハウや福祉・建築の専門家としての知識を用いて研究を行っていく。 寒冷地･積雪地での先進地事例や国体・障がい者スポーツ大会対応事例を参考に指針と関連付けた事例集のようなものを作成し広く県民の理解を得る手段を作成する。	社会福祉学部	教授	狩野徹	岩手県保健福祉部	岩手県地域福祉課 岩手県地域福祉課	総括課長 主事	千田充 中村公一	一般課題研究	地域マネジメント研究分野	岩手県全体	―
計														